

○車の走行音の反響によりメロディーを奏でる道路は、全国に42カ所設置されている（図表1）。県内には「ぐんまメロディーライン」の名称で全国最多の10カ所整備されている。

○一定の速度で走行することでメロディーが聴こえるため、スピード抑制や居眠り防止の効果が期待できる。また、その地域にちなんだメロディーによる演出効果で、観光地のイメージアップにもつながる。

○「ぐんまメロディーライン」の設置年月は、2010年～11年に集中している（図表2）。これは、11年の群馬デスティネーションキャンペーン（観光キャンペーン）にあわせて整備されたためである。実際にドライブで体験してみてはいかがだろうか。



図表1 メロディーを奏でる道路の設置数（都道府県別）

順位	都道府県	設置数
1	群馬県	10
2	北海道	6
3	広島県、愛媛県	3
5	新潟県、山梨県、静岡県、大分県	2
9	岩手県、宮城県、山形県、福島県、栃木県、石川県、愛知県、滋賀県、和歌山県、鳥取県、鹿児島県、沖縄県	1
	全国計	42

注：2023年11月現在 当研究所調べ

図表2 「ぐんまメロディーライン」一覧

所在地	号線	曲名	設置年月
高崎市	県道33号 渋川松井田線	静かな湖畔	2008年4月
草津町	国道292号	正調草津節	2008年8月
前橋市	国道353号	チューリップ	2010年2月
嬬恋村	県道94号 東御嬬恋線	雪山讃歌	2010年3月
みどり市	国道122号	うさぎとかめ	2010年9月
中之条町	国道353号	いつも何度も	2010年11月
神流町	国道462号	こいのぼり	2010年12月
高山村	県道36号 渋川下新田線	星に願いを	2011年1月
みなかみ町	国道291号	四季の歌	2011年4月
上野村	国道299号	うれしいひなまつり	2012年8月

出所：群馬県 県土整備部 道路管理課HP

【メロディーを奏でる道路の仕組み】

道路に小さな溝を連続的に作ることにより、その上を車で走行する際に、走行音が溝の中に反響して音が出る仕組みである。溝の間隔が狭いと高い音、間隔が広いと低い音が出る。



画像提供：群馬県 県土整備部 道路管理課

(担当：稻田純也)